

モニタリング結果の概要

プロジェクト名

「諸塚村森林炭素吸収量活用プロジェクト」

・モニタリング対象期間

2008年4月1日～2010年3月31日

純吸収量の算定

吸収量の算定 $\Delta CFM = \Delta CAG + \Delta CBG$

純吸収量の算定 $\Delta C_{total} = \Delta CFM - \Delta C_{base}$

ΔC_{total} 人為的純吸収量 (t-CO₂/年)

ΔCFM 森林経営活動(間伐)に基づく年間のCO₂吸収量 (t-CO₂/年)

ΔC_{base} 森林経営活動(間伐)対象地ベースラインCO₂吸収量 (t-CO₂/年)

吸収量(地上部バイオマス)の算定

$\Delta CAG = \sum \Delta CAG, i = \sum (Area_{Forest, i} \times \Delta Trunksc, i \times BEFi \times WDi \times CF \times 4.4 / 1.2)$

$\Delta CAG, i$ 森林経営活動(間伐)に基づく、階層*i*における地上部バイオマス中の年間CO₂吸収量 (t-CO₂/年)

$Area_{Forest, i}$ 階層*i*において森林経営活動(間伐)が実施された森林面積 (ha)

$\Delta Trunksc, i$ 収穫予想表等に基づく、階層*i*における単位当たりの幹材積の年間生長量 (m³/ha/年)

$BEFi$ 階層*i*における幹材積生長量に枝葉の生長量を加算補正するための係数

WDi 階層*i*における成長量(材積)をバイオマス(乾燥重量)に換算するための係数 (t/m³)

CF 樹木の乾燥重量から炭素量に換算するための炭素比率 (0.5)

i 1, 2, 3...プロジェクト実施対象地における階層(地形、植栽樹種等の森林成長に関する層: 地位級)

吸収量(地下部バイオマス)の算定 ※方法論を参照し、以下に吸収量の算定式及び値を記入する。

$\Delta CBG = \sum \Delta CBG, i = \sum (\Delta CAG, i \times Rratio, i)$

$\Delta CBG, i$ 森林経営活動(間伐)に基づく、階層*i*における地下部バイオマス中の年間CO₂吸収量 (t-CO₂/年)

$Rratio, i$ 階層*i*における地上部バイオマス中の年間CO₂吸収量に、地下部(根)を加算補正するための係数

i 1, 2, 3...プロジェクト実施対象地における階層(地形、植栽樹種等の森林成長に関する層: 地位級)

ベースライン吸収量の算定 ※方法論を参照し、以下にプロジェクト排出量の算定式及び値を記入する。

間伐が実施されないベースラインシナリオに基づく吸収量はゼロ。

プロジェクト排出量の算定 ※方法論を参照し、以下にプロジェクト排出量の算定式及び値を記入する。

該当なし

・モニタリング結果：

2008年度	2009 年度	合計
246 t CO2	550 t CO2	796 t CO2